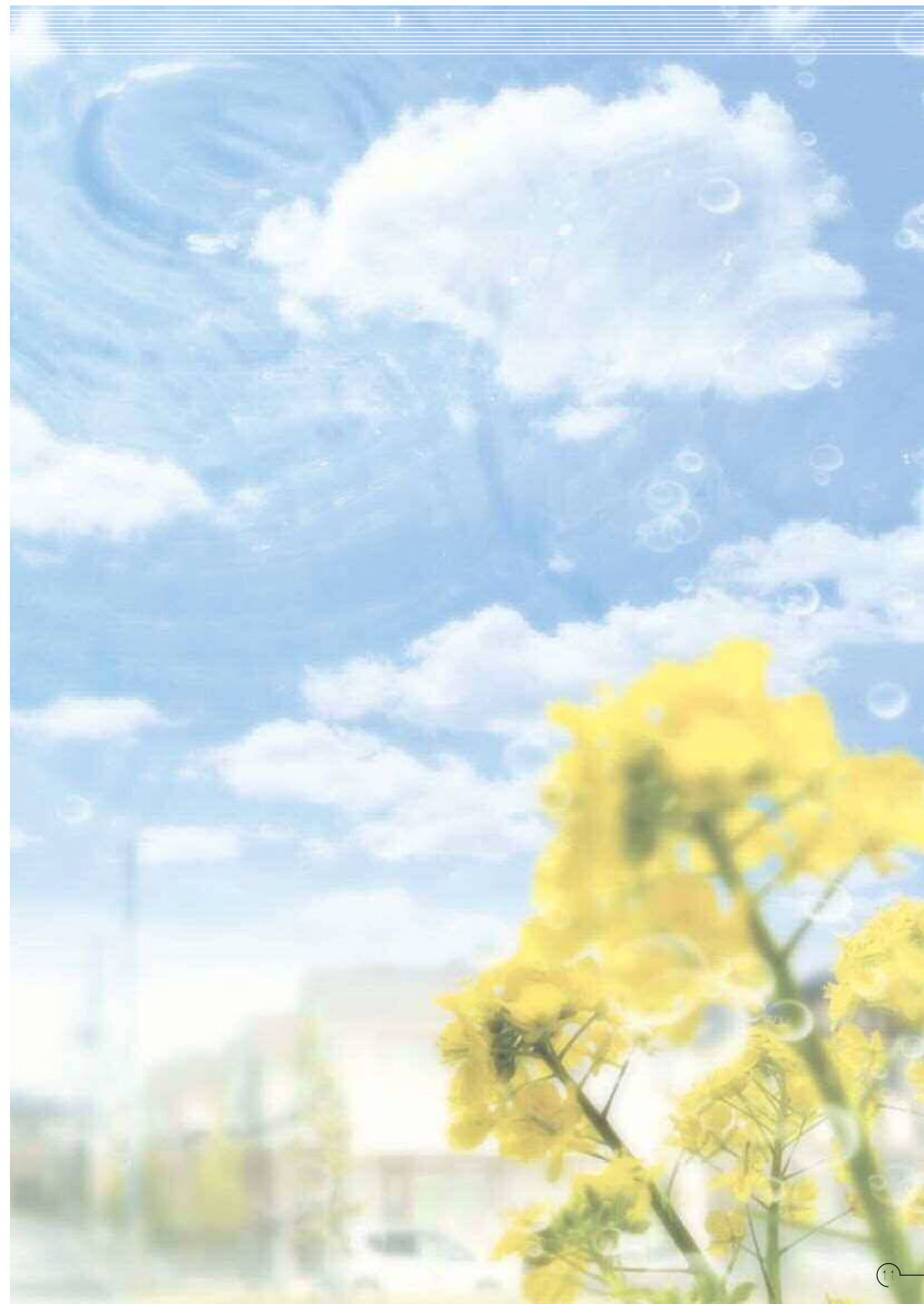


擁壁

Retaining wall



アニーヴァン・ポーラスアニーヴァン	12
なごみ	14
スプリット	16
小口止めブロック	17
間知ブロック	18
ナチュラル間知	20
ポーラスみたけ	22
リバーソ	24
グリーンストーン(35型・50型)	26
IKベース	28
I(アイ)ブロック	30
防災積ブロック(管理者簡易階段兼用)	32
スプラウト	33
山水リーナ	34
山水ビューII	35
繁(しげる)、ビッググリーン	36
ふる里、ふる里(基礎ブロック)	37
ナチュラルロックグロウフィッシャー	38
(ナチュラルロック)エコフィッシャー	39
ジャストウォール	40
スーパージャンボ	42
ハイバック	43
テールアルメ工法A3	44
スーパーテールアルメ工法	44
アクアテール35	45



アニーヴン・ポーラスアニーヴン



■アニーヴン



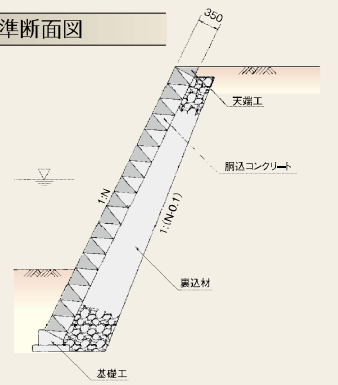
■ポーラスアニーヴン



◆特長

- ・製品合わせ部(目地)が深目地状に切り欠いてあり、土砂・種子が漂着することで植生の回復を促します。
- ・切り欠き部背面には小型のポケットを有し、漂着土の堆積を促進することでよりよい環境をつくります。
- ・製品向きをランダムに施工することで数パターンの目地形状ができ、石積みに近い深目地をつくります。
- ・ひとつの深目地面積は小さいですが、ブロックが小型であるため空隙量は多くなり、適度な植生が望めます。
- ・低明度な護岸デザインができます。
- ・ポーラスコンクリートは、ブロック面にも微生物・植物等の生息空間を与えます。
- ・間知ブロックと同様の設計が可能です。

◆標準断面図



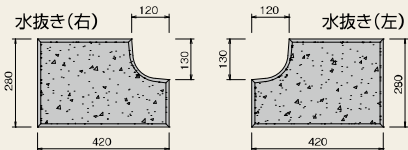
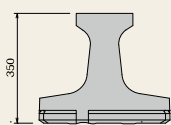
◆規格諸元

名称	規格(mm)	参考質量(kg/個)	胴込量(㎡/㎡)
基本A型	420×280×350	41.2	0.19
根石・天端B型	396×298×350	27.9	
側石C型	594×397×350	49.7	
隅石D型	397×397×350	42.8	
隅石E型	298×298×350	27.3	
水抜き(左・右)	420×280×350	39.0	

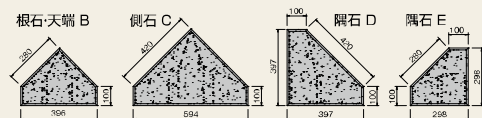
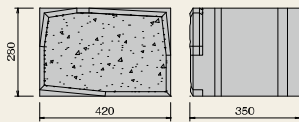
※法長表はP129参照下さい。

◆製品図

基本A 使用個数…8.5個/㎡

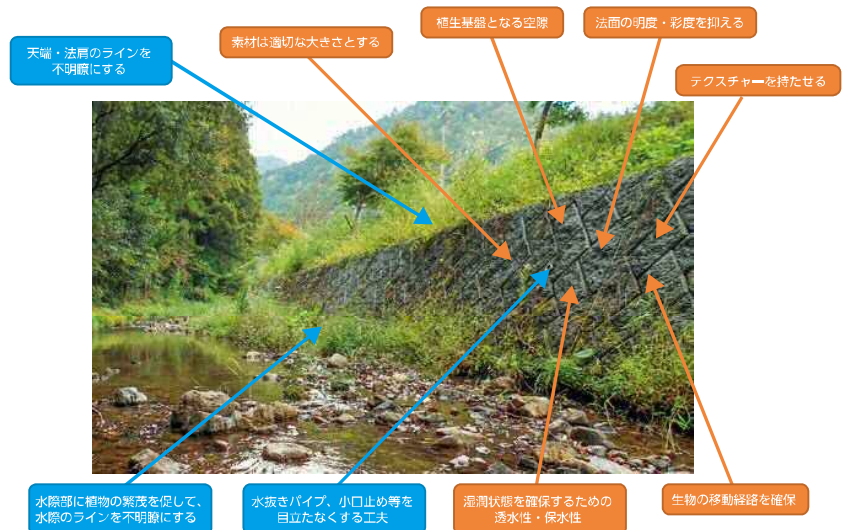


※水抜きブロックは、左右同数設置のため、規制にて左右同数をご使用いただけますようお願いいたします。



※展開図はP15参照ください。(おこみと同様のため)

◆ポーラスアニーヴン施工事例



「美しい山河を守る災害復旧基本方針」より、河川における災害復旧のポイントとして、コンクリート系の工法を用いる際には、景観との調和に十分配慮する、とあります。

■アニーヴン



■ポーラスアニーヴン



施工直後

施工3年後



なごみ

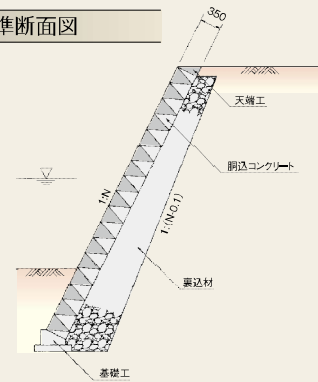


従来の滑面型に比べて表面がやわらかく、周辺環境に調和する割面間知ブロックです。

◆特長

- ・二分割方式による製造のため表面の凹凸がすべて異なり、柔らかいイメージを創出します。
- ・即時脱型方式のため製品の明度が低く、落ち着いた景観のブロック積擁壁を構築します。
- ・割面であるため間知ブロックに比べハレーションが少ないです。
- ・従来からの控え35cm練積ブロック同等の寸法、重量を確保しています。
- ・8.5個/m²使用であり、施工方法は従来からの積ブロック同等であり、特別な専門工を必要としません。

◆標準断面図



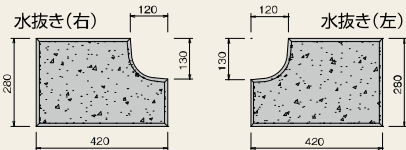
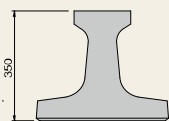
◆規格諸元

名称	規格(mm)	参考質量(kg/個)	胴込量(m ² /m)
基本A型	420×280×350	41.2	0.19
根石・天端B型	396×298×350	27.9	
側石C型	594×397×350	49.7	
隅石D型	397×397×350	42.8	
隅石E型	298×298×350	27.3	
水抜き(左・右)	420×280×350	39.0	

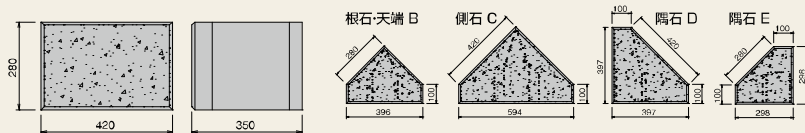
*法長表はP129参照下さい。

◆製品図

基本A 使用個数・8.5個/m²
(JIS A5371 附属書D 推奨仕様D-1)



*水抜きブロックは、左右両数生産のため、現場にて左右同数をご使用いただけますようお願いいたします。



■調整池



■宅地



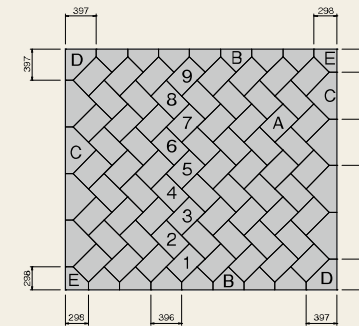
■山留



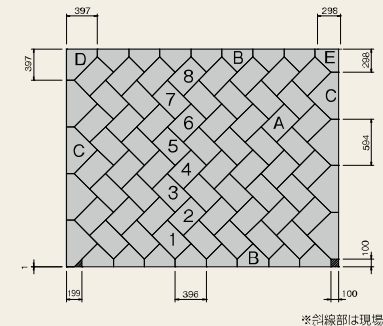
■道路

◆谷積展開図

【奇数段の場合】



【偶数段の場合】



*斜線部は現場打ち



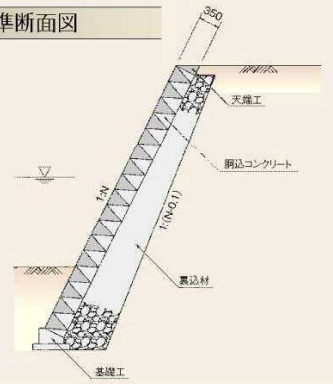
スプリットン



◆特長

- ・表面の凹凸による陰影が柔らかいイメージを与え、面は比較的自然石に近いテクスチャーであるために周辺景観に違和感無く溶け込みます。
- ・地域的な色に対応した色彩の選択が可能です。(ニュー スプリットンカラータイプ)
- ・経年変化による汚れなどが比較的目立たず、より味わい深い風合いとなります。
- ・10個/m²使用でありハンドリングがよく、特別な専門工を必要としません。

◆標準断面図



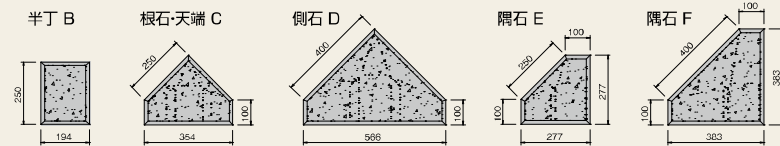
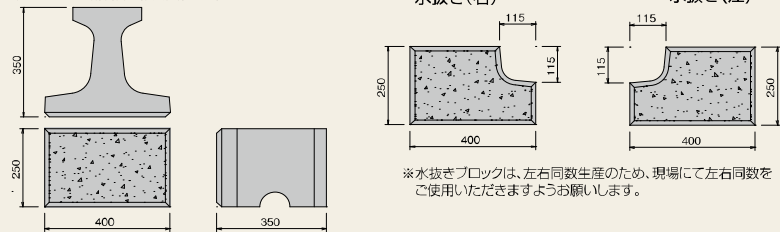
◆規格諸元

名称	規格(mm)	参考質量(kg/個)	胴込量(m ³ /m)
V間知 基本A型	400×250×350	35.0	0.20
V間知 1/2B型	194×250×350	16.9	
V間知 根石・天端C型	354×277×350	22.5	
V間知 隅石D型	566×383×350	45.5	
V間知 隅石E型	277×277×350	25.6	
V間知 隅石F型	383×383×350	39.1	
水抜き(左・右)	400×250×350	33.9	

※法表表P129参照下さい。

◆製品図

基本 A 使用個数…10個/m²
(JIS A5371 附属品D 推奨仕様D-1)



小口止めブロック



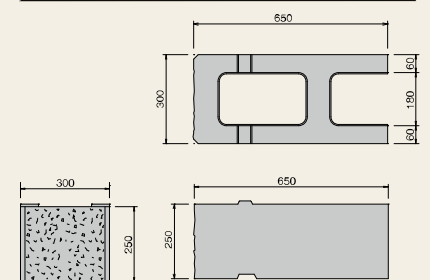
明度証明



◆施工事例



◆製品図



◆規格諸元

規格(mm)	参考体積(m ³)	参考重量(kg)	中詰め量(m ³)
300×250×650	0.0275	63	0.0211



間知ブロック



◆特長

- ・滑面タイプの間知ブロックで、経済性に優れた積ブロックです。
- ・市場に浸透した汎用製品です。

◆規格諸元

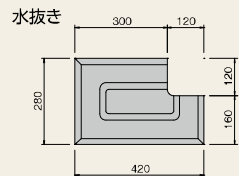
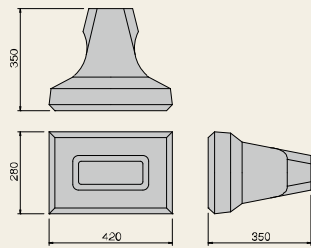
名称	規格(mm)	参考質量(kg/個)	積込量(個/m ²)
基本A型	420×280×350	41.2	0.19
根石・天端B1型	396×338×350	33.1	
根石・天端B2型	396×398×350	41.4	
側石C型	594×397×350	43.9	
隅石D1型	397×437×350	45.4	
隅石D2型	397×497×350	53.7	
隅石E1型	298×338×350	31.2	
隅石E2型	298×398×350	34.9	
水抜き	420×280×350	38.8	

※隅石は、右挿用・左挿用があります。
 ※断面図はP22参照下さい。(ガラスみかけと同様のため)
 ※法長表はP129参照下さい。

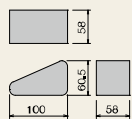


◆製品図

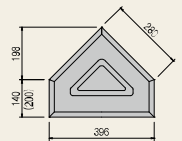
基本A 使用個数…9.5個/m²
 (JIS A5371 附属書D 推奨仕様D-1)



スペーサーブロック

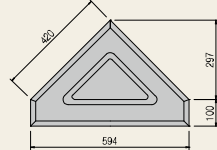


根石・天端/B1(B2)型

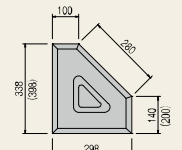


※カッコ内は、B2の場合の寸法

側石/C型

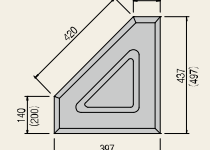


隅石/E1(E2)型(右)



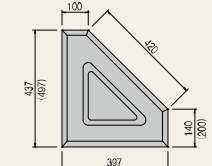
※カッコ内は、E2の場合の寸法

隅石/D1(D2)型(右)



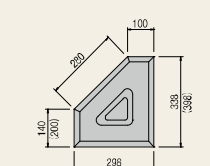
※カッコ内は、D2の場合の寸法

隅石/D1(D2)型(左)



※カッコ内は、D2の場合の寸法

隅石/E1(E2)型(左)

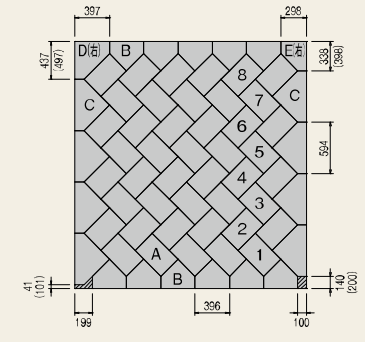
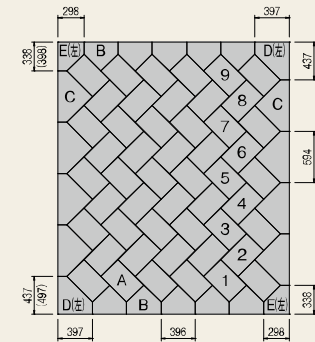


※カッコ内は、E2の場合の寸法

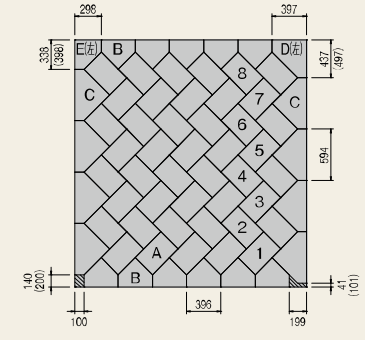
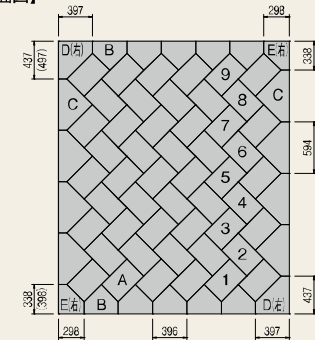


◆谷積展開図

【左積正面図】



【右積正面図】



※斜線部は現場打
 ※カッコ内寸法は、根石・天端にB2を使用した場合



ナチュラルロック間知

テ
ク
証
明

明
度
証
明

ALC
LE

兵
新
特

◆特長

- ・製品表面に自然石が埋め込んであり、コンクリート肌が表面に現れず、修景上環境に配慮したブロックです。
- ・谷積みによる施工で石の並びが一律とならず、埋め込み石が小さいわりに外観に優れた製品です。
- ・砂目地は保水性があり、設置場所によって苔等が付着します。
- ・現地発生石を利用しての製造が可能です。
- ・経年変化による汚れが比較的目立たず、より味わい深い風合いとなります。
- ・石の種類はP128を参照下さい。

◆規格諸元

名称	規格(mm)	参考質量(kg/個)	積込量(m ² /m ²)
基本A型	420×280×350	41.2	0.19
根石・天端B型	396×398×350	41.6	
側石C型	594×397×350	44.0	
隅石D型	397×497×350	53.6	
隅石E型	298×398×350	34.7	
水抜き	420×280×350	40.3	

※断面図はP22を参照下さい。(ボースみかけと同様のため)
※法長表はP129を参照下さい。

木曽



三河

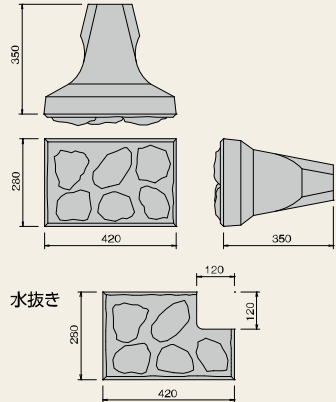


砂面

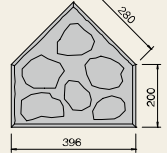


◆製品図

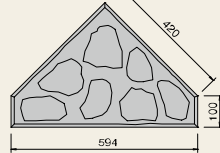
基本 A 使用個数…8,5個/m²



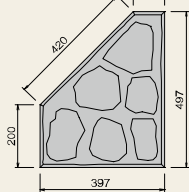
根石・天端 B



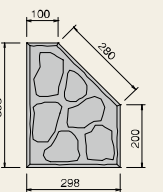
側石 C



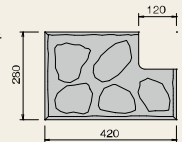
隅石 D



隅石 E



水抜き



三河



木曽



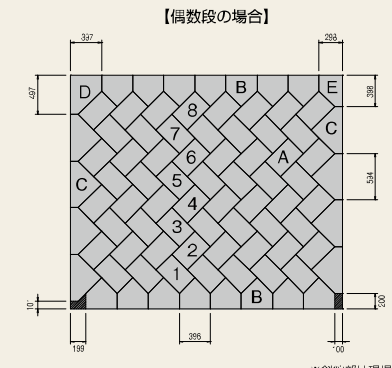
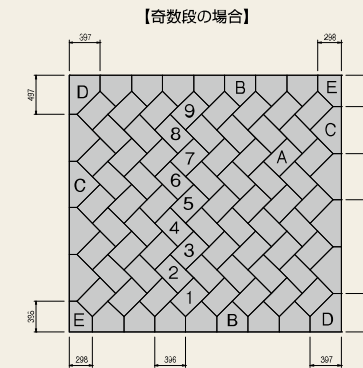
砂面



みかげ石 (こぶ出し) ※特注品



◆谷積展開図



※斜線部は現場打ち



ポーラスみたけ

テク
証明

明度
証明



AI
LE

NETIS

◆特長

- ・表面がポーラスコンクリートのため、微生物・植物等の生息空間をつくり、自然との共生をめざしたブロックです。
- ・経年変化による汚れが比較的目立たず、より味わい深い風合いとなります。

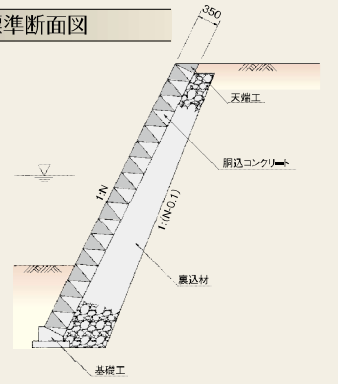


◆規格諸元

名称	規格(mm)	参考質量(kg/個)	胴込量(m ³ /m)
基本 A 型	420×280×350	41.2	0.19
根石・天端 B ₁ 型	396×338×350	34.0	
根石・天端 B ₂ 型	396×398×350	41.5	
側石 C 型	594×397×350	44.0	
隅石 D ₁ 型	397×437×350	47.3	
隅石 D ₂ 型	397×497×350	53.6	
隅石 E ₁ 型	298×338×350	30.6	
隅石 E ₂ 型	298×398×350	34.7	

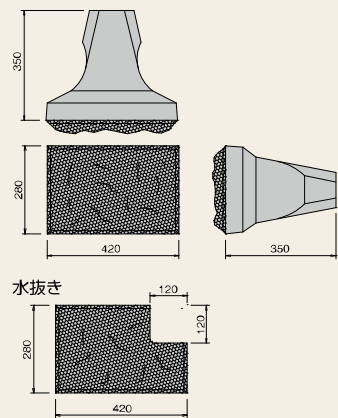
※法長表はP129参照下さい。

◆標準断面図

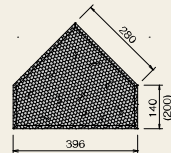


◆製品図

基本 A 使用個数…8.5個/m²

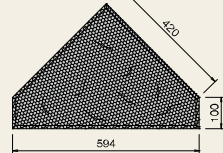


根石・天端 B₁(B₂)

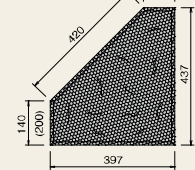


※カッコ内は、B₂の場合の寸法

側石 C

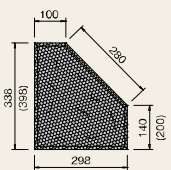


隅石 D₁(D₂)



※カッコ内は、D₂の場合の寸法

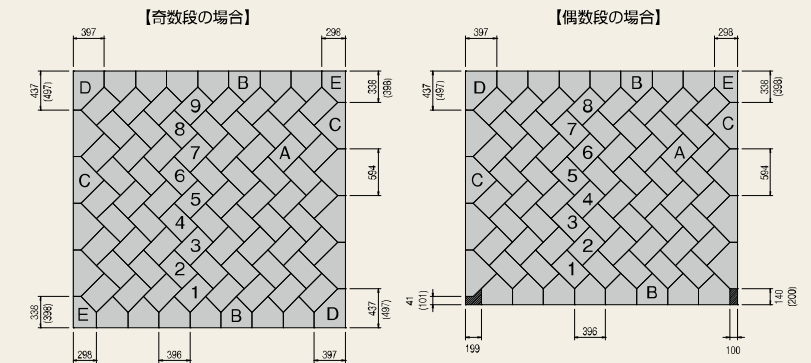
隅石 E₁(E₂)



※カッコ内は、E₂の場合の寸法



◆谷積展開図



※斜線部は現場打ち
※カッコ内寸法は、根石・天端にB₂を使用した場合

リバーソン

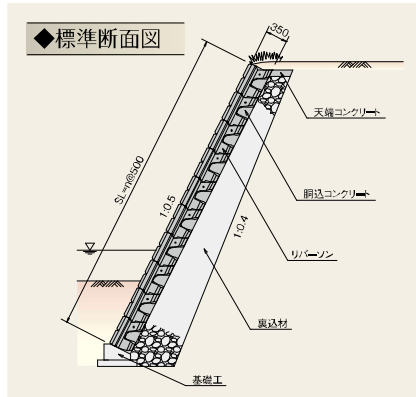
テク
証明 明度
証明

◆特長

- 一般的な布積ブロックは構造目地が目立ちますが、構造目地の中に小割目地を施す事で規則的な目地を抑え、より自然に溶け込むように工夫しています。
- 擬石模様(はつり)で陰影をつけて、さらに小割目地でブロック全体の明度を6以下に抑えています。
- 周辺環境に調和するテクスチャーを有しています。
- カーブが容易にできるような構造です。
- 設計が1:0.5勾配の場合、水平に施工ができ、自立性が高いため施工が容易です。
- 製品本体と胴込コンクリートが確実に一体となり、擁壁の安定性が増す構造です。
- 天端のラインを不透明にするために製品の天端を控えた形状としています。



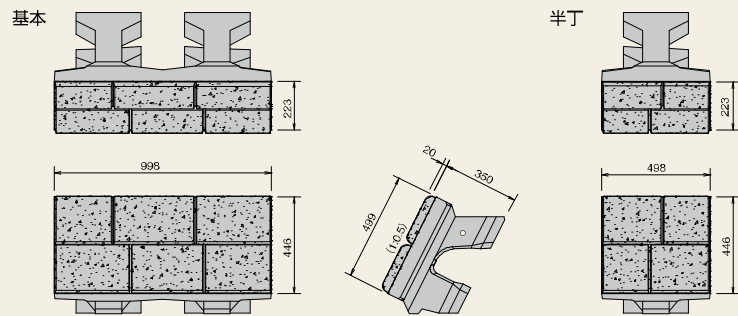
◆標準断面図



◆規格諸元

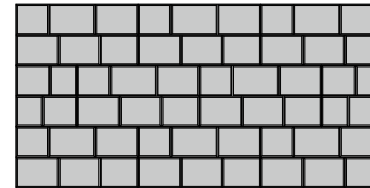
名称	規格(mm)	参考質量(kg/個)	胴込量(m ³ /m ²)
基本	998×499×350	179	0.20
半丁	498×499×350	89	
水抜き(左・右)	998×499×350	178	
基礎用	998×499×350	178	

◆製品図



天端部に植生ができるように、ブロック控え形状を下げた位置に設置しました。

◆展開図



個々のブロック構造目地と模様目地の区別がつきにくいように目地幅・深さを統一しました。ハツリによる擬石模様と小割の深目地を縦横に配置し、水平目地は通りますが、小割の大きさを適度に変えることで縦目地が通らない布積みパターンとしました。素材の見かけの大きさに配慮し、小割した擬石模様の大きさは、35cm程度までに抑えました。

◆テクスチャー写真



ブロック表面は、ハツリ模様による適度な肌理の粗さ、凹凸を表現しました。目地幅を狭く、深くした小割の目地を配置し、表面をハツリ模様としたことで、ブロック表面に適度な陰影ができ、施工後の平均明度が下がりました。



◆施工手順

- ①掘削 → 基礎材設置 → 基礎コンクリート設置
- ②ブロック据付



③裏込材投入、締固め



④胴込コンクリート打設、締固め



⑤2段目以降、②～④を所定段数まで繰り返します



グリーンストーン (35型・50型)

テク
証明

明
度
証明



35型

50型

『ホタルが生息する豊かな緑と多様な自然環境の創造』をテーマに開発した小型植生ブロックです。ホタルの飛翔する環境、孵化が可能な土嚢室、幼虫の這い上がりやすいオーバーハングの無いブロック形状、ブロック表面(スプリットによる粗面)形状、ブロック高さ(200mm)をもっています。土嚢室には連続性があり、湿度のある柔らかい土が維持できるため、植生に適した構造になっています。35型は形状を改良し、基本型及び天端型の軽量化を図りました。新タイプである50型は従来必要とされていた裏込コンクリートではなく、胴込コンクリートにて壁体重量(従来からの控え35cm間知ブロック積同等以上)を確保できるようになっています。さらに、ブロック上部の突起に合わせて設置するだけで1:0.5、1:1.0にセットバック状に敷設することが可能となりました。

◆規格諸元

名称	規格(mm)	参考質量(kg/個)	胴込コンクリート(m ³ /m)
35型 基本	500×200×350	39.6	0.057
35型 端部	250×200×350	29.7	
35型 天端	500×100×350	32.0	
35型 水抜	500×200×350	46.5	
35型 取水	500×200×350	39.1	
50型 基本	500×200×500	49.2	
50型 端部	250×200×500	34.5	
50型 水抜	500×200×500	56.1	
50型 取水	500×200×500	48.7	

※客土量=0.0091(m³/個)(35型・50型共通)

◆特長

- ・ホタル等の昆虫の育成環境を考えた植栽可能な積みブロックです。
- ・土嚢室は上下左右に繋がっているため上下ブロックからの水分補給がなされ、植物に適した環境(条件)を確保できるブロックです。
- ・専用の植生土嚢も用意しております。
- ・ブロック表面はスプリット方式によるテクスチャーであり、ブロック独自形状と植生があいまって、周辺環境との違和感が少ないです。
- ・裏込コンクリートを最低厚13cm打設することで、通常の控え35cm練積ブロックと同等以上の壁体重量を有し、同程度の機能及び安定性を確保します。(35型の場合)
- ・50型は胴込コンクリートにて間知ブロック同等以上の壁体重量を確保できます。(1割セットバック除く。)
- ・布積みによる施工でブロックの敷設は比較的容易です。
- ・小型で表面にR状の側部を有しているため、カーブ施工が容易であり、施工後の違和感がありません。
- ・5分、1割の勾配にてセットバック積みが可能となり、勾配積みと比べて植栽面積が増加するため、より豊富な植生が期待できます(50型のみ)。



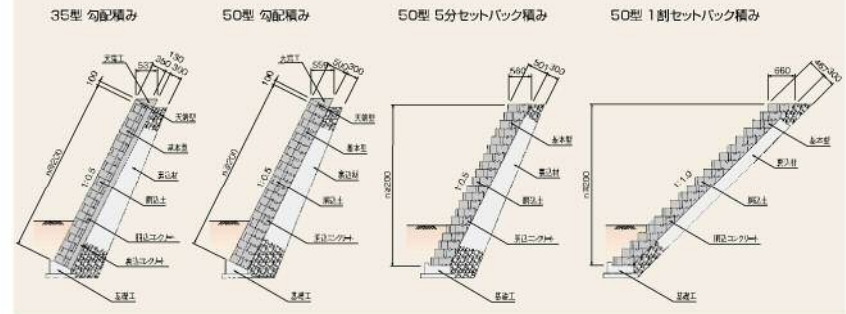
5分セットバック積み



1割セットバック積み

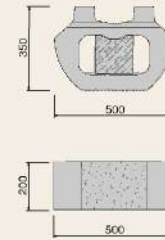


◆標準断面図

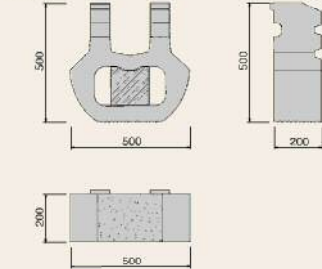


◆製品図

35型基本



50型基本



IKベース

NETIS

兵衛技

静新技

◆特長

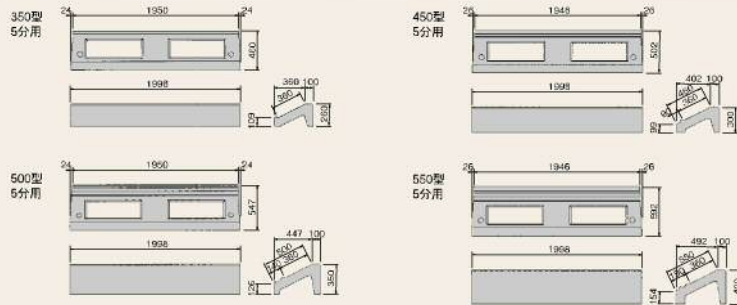
- ・土木構造物標準設計に合わせ、350・450・500・550のタイプがあります。
- ・中詰コンクリートにより地盤なじみ一体化します。
- ・ブロック背面を連結プレートで連結することで一体性が増します。
- ・根石の位置決めを容易にするため、後部に突起を設けてあります。
- ・ブロック重量が、220～380kgと軽量で、小型重機での施工が可能です。
- ・型枠の組立、解体が不要で熟練工を必要とせず工期短縮できます。
- ・プレキャスト製品のため形状が安定しており、根石ブロックの据付が容易です。
- ・型枠が不要で、木材等の廃棄物を出しません。

◆規格諸元

名 称	規 格 (mm)	参考質量 (kg/個)	調達材料 (㎡/個)
350型 5分用	260×460×1998	220	0.077
450型 5分用	300×502×1998	271	0.104
500型 5分用	350×547×1998	318	0.137
550型 5分用	400×592×1998	381	0.186
砂防用500型 5分用	524×747×998	357	0.187
砂防用550型 5分用	546×792×998	381	0.207

砂防用基礎

◆製品図



◆施工手順



基礎材の設置



ブロックの据付



ブロックの位置調整



施工完了



コンクリート表面仕上げ



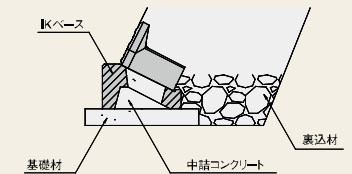
コンクリート投入

- 1 基礎材の設置
ブロックを据付するため、基礎材を投入し締めます。
- 2 ブロックの据付
所定の吊り金具を用いてブロックを重機にて吊り上げ据付けます。
- 3 ブロックの位置調整・連結
必要に応じてブロック背面を連結プレートにて連結します。
- 4 コンクリート投入
ベース中詰部にコンクリートを打設、締固めを行います。
- 5 コンクリート表面仕上げ
コンクリート打設面にコテをかけ仕上げます。
- 6 養生
コンクリート表面仕上げ後、養生シートをかけ養生します。
- 7 施工完了
養生シートを取り外し施工完了です。

◆連結プレート詳細写真



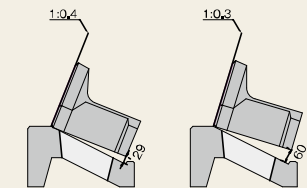
◆標準断面図



◆根石据付状況



◆3分又は4分勾配の場合

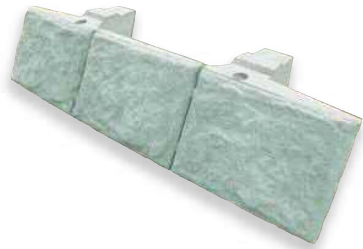


I (アイ) ブロック

NETIS

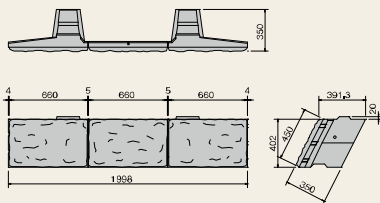
◆特長

- ・堤脚保護用の0.9m²/個の大型ブロックで、表面は擬石模様を標準としています。
- ・表面が1:0.5勾配であり、高さ(法長)が堤脚保護工の標準高さ(法長900mm)の半分の450mmであるため、2段積みすることで必要高さを満たします。
- ・首部を持つブロックと平ブロックを連結鉄筋にて群体としており、3個の単体ブロックでひとつのブロックとなります。
- ・個々のブロック間に目地を設けることで排水機能を持っています。
- ※間知ブロック空積の約1.5倍、水抜きパイプ(1個/3m)の8倍の排水能力
- ・天端型は首部が約6cm下がっており、張芝、天端コンクリート等の処理も容易です。
- ・専用の基礎ブロック、水抜き型も用意しておりますのでさまざまな計画の堤脚保護に対応できます。

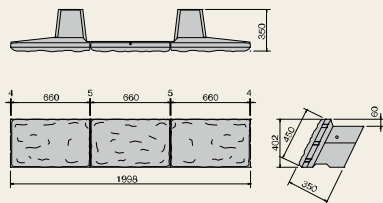


◆製品図

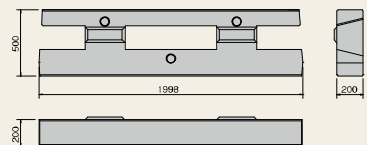
基本型



天端型



基礎ブロック



◆規格諸元

名称	規格(mm)	参考質量(kg/個)	胴込材量(m ² /個)
基本型	1998×450×350	269	0.188
天端型	1998×450×350	252	0.196
基礎ブロック	1998×200×500	300	0.070

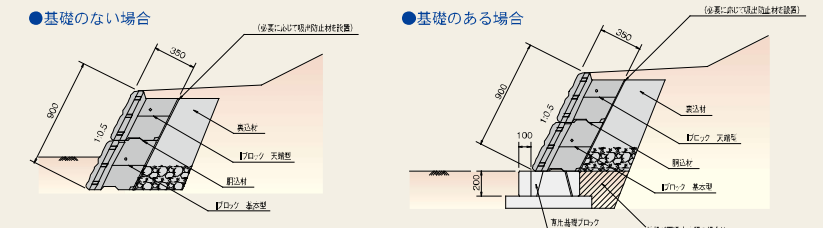
◆施工手順

- 掘削及び床控え** 製品は水平設置で1:0.5になります。掘付面は極力平坦となるようにしてください。
- 製品1段目の設置** 専用吊金具で吊上げ、糸に合わせて不陸調整しながら製品間に開きがないように設置します。
- 胴込材投入** 胴込材を2/3程度まで投入します。転圧は製品の滑り出しを防止するため前面部を埋戻してから行います。
- 前面部埋戻** 前面部を規定高さまで埋戻します。
- 胴込材の転圧** 製品間及び背面を転圧機で十分に転圧します。製品付近も踏みつけ等でしっかり転圧してください。
- 前面埋戻材の転圧** 前面埋戻材を転圧します。
- 2段目の設置** 1段目の土汚れをきれいに除去し半丁ずらして設置します。
- 胴込材の投入、転圧** 1段目同様に十分に転圧します。
- 張芝、天端工等の処理** 天端型は6cm首部が下がっております。天端の処理方法に合わせて処理してください。
- 施工完了** 製品は2段積みで堤脚保護の標準法長900mmとなります。3段以上や練積をご検討の場合はご相談ください。

特記

Iブロックは排水性を向上させるため製品間及び擬石面間に約5mmの開きができるようになっております。一般的に胴込に用いる材料は良質な現地発生土を用いる場合が多いですが、細粒分を多く含む材料を用いる場合は連結間の隙間に吸出防止材、フィルタークロスといった布製品を充てることも可能です。(製品背面側に接着用の貼り代があります。)

◆標準断面図



ドレーン工との併用



防災積ブロック（管理者簡易階段兼用）

積ブロック擁壁は、緩勾配の護岸に比べて滑落などの被災時に脱出する手段が無く、防災上不安全となっています。防災積ブロックは積ブロック擁壁の間に挟み込む形で簡易的な階段を構築できる製品です。

◆特長

- 一般的に使用する積ブロックの間にブロックを高さ方向に積み上げることで簡易昇降階段を構成できます。
- 踏み台端に滑り止め兼指掛けを設けており、安全に昇降できます。
- 突起にブロック前面部を当てながら積むことで1:0.5勾配となるため、施工が容易です。

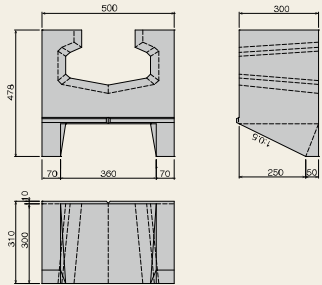
◆規格諸元

規格寸法 (mm)	500×300×478
参考重量 (kg/個)	83.3
胴内胴込量 (m ³ /個)	0.019
ブロック積施工胴込量 (m ³ /m ²)	0.182

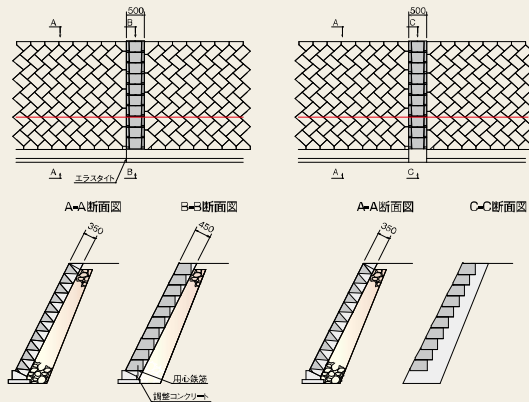
◆昇降状況



◆製品図



◆設置例図

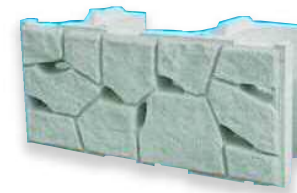


スプラウト



◆特長

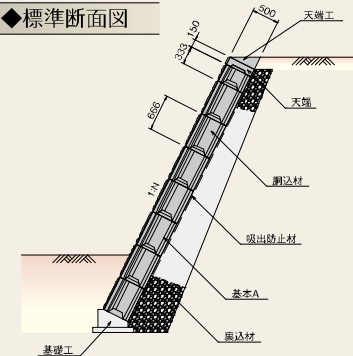
- ブロック表面は擬石模様となっており、表面及び面周りに植栽孔を配置した環境保全型ブロックです。
- ブロック背面は大きく開口しており、裏込材と胴込材が接する事で、背面水等の循環機能を高めています。
- ブロックは、凹凸によるかみ合わせと胴込材のせり持ちにより滑り出しを防止し、土圧に対して十分な安定性があります。また、上下ブロックを専用プレートで連結することでより強固な壁体となります。
- ブロックは1個/m²であるために施工の省力化が図れ、工期を大幅に短縮できます。
- ブロックの空隙部及びブロック内の粟石、砕石及び客土などにより形成される空隙は、植物の繁茂や微生物に生活の場を提供し、生態系にやさしく、環境保全に優れています。



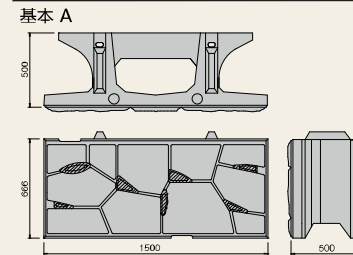
◆規格諸元

名称	規格 (mm)	参考質量 (kg/個)	胴込量 (m ³ /個)
基本 A	1500×666×500	520	0.274
横半丁 B	750×666×500	252	0.140
縦半丁 C	1500×333×500	270	0.130
1/4 D	750×333×500	135	0.065
天端	1500×150×500	194	0.079

◆標準断面図



◆製品図





山水リーナ



◆特長

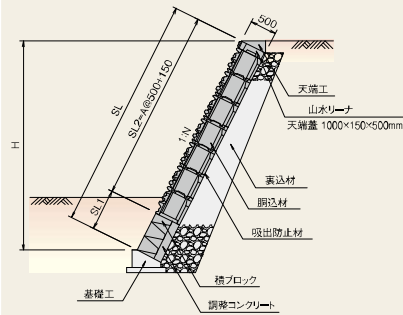
- ・ブロックの空隙部及びブロック内の栗石、砕石、客土により形成される空隙は、植物の繁茂や微生物に生活の場を提供し、生態系にやさしく、環境保全に優れています。
- ・ブロック表面は自然石の積石を模した擬石模様となっており、周囲の景観にマッチした自然な雰囲気をつくり出します。
- ・ブロックは、2個/m²であるために施工の省力化が図れ、工期を大幅に短縮できます。
- ・ブロックは凹凸によるかみ合わせと網込材のせり持ちにより滑り出しを防止し、土圧に対して十分な安定性があります。
- ・従来の緑化ブロック（ポット式を含め）以上の植物（小木等）が期待できます。
- ・客土が十分なので保水性に優れ、植物を夏の乾燥から護ります。

◆規格諸元

名称	規格 (mm)	参考質量 (kg/個)	網込量 (m ² /m ²)
基本 A	1000×500×500	270	0.296
根石・天端 B	1000×500×500	270	
天端半丁 BH	500×500×500	135	
側石 C	1000×500×500	270	
側石半丁 CH	500×500×500	138	
天端蓋 F	1000×150×500	168	
天端蓋半丁 FH	500×150×500	84	

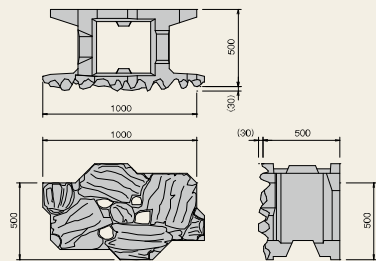


◆標準断面図



◆製品図

基本 A



山水ビューⅡ

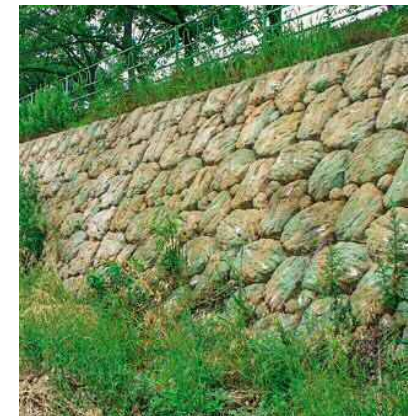


◆特長

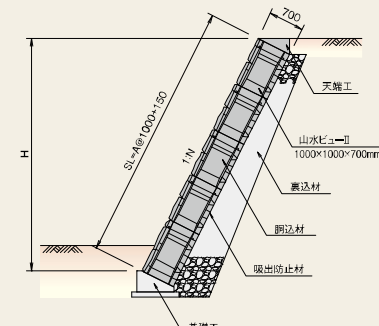
- ・三点支持表現工法(特許出願)で力強く安定した自然な姿を実現しました。
- ・客土が十分なので保水性に優れ、植物を夏の乾燥から護ります。
- ・従来の緑化ブロック(ポット式を含む)以上の植物(木、花、草)の生育の向上が図れます。
- ・植栽施工後は除草の必要はほとんどありません。
- ・特許積層断面表現工法でより自然になります。
- ・開口部の最小径が50mm以下となっており、網込土の吸出しが生じないよう工夫してあります。
- ・魚巣として使用した場合内部が適当な陰になり、広く外観は自然で違和感がありません。
- ・専用仕切板を使用することによって、多用途な空間をつくれます。(中詰め例 上部:土砂/上部:植生土 / 下部:栗石/下部:魚巣)

◆規格諸元

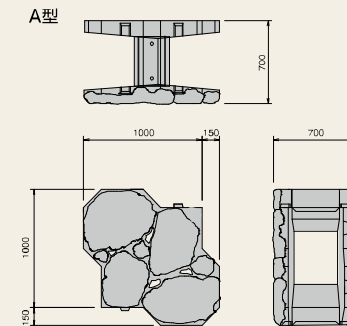
名称	規格 (mm)	参考質量 (kg/個)	網込量 (m ² /m ²)
A型	1000×1000×700	636	0.401
B型	1000×1000×700	694	
C型	1000×1000×700	675	
D型	1000×1000×700	732	
E型	1000×1000×700	743	



◆標準断面図



◆製品図





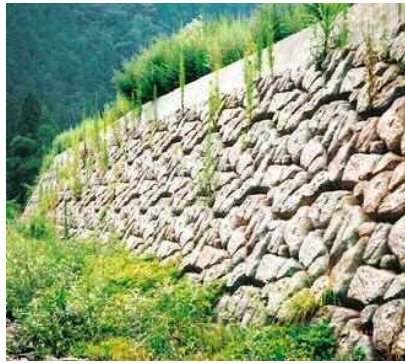
繁 (しげる)



◆規格諸元

名称	規格(mm)	参考質量(kg/個)	胴込量(m ³ /個)
基本A	1998×1298×800	1684	0.753
根石B	1998×1298×800	1859	0.913

※その他隅石もあります。



ビッググリーン



◆規格諸元

名称	規格(mm)	参考質量(kg/個)	胴込量(m ³ /個)
基本型	1000×500×770	392	0.186
端部型	500×500×770	231	
魚巢基本型	1000×500×770	348	
魚巢端部型	500×500×770	222	
天端役物型	1000×500×770	380	
天端型	1000×150×770	232	

※客土量=0.118m³/m²



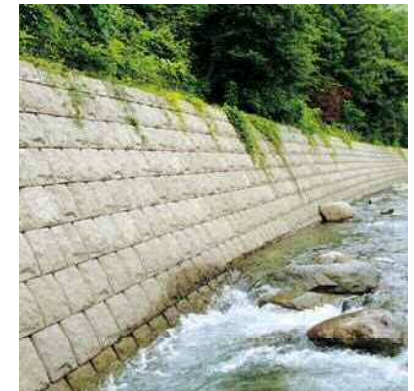
ふる里



◆規格諸元

種類	呼び名	目地	取石標準(mm)	標準寸法(mm)	主要部寸法 法長×控×幅(mm)	参考質量(kg)
3分タイプ	A形(6連)	浅目地	35	350	400×350×2485	690
	B L形(3連)				400×350×1443	412
	B R形(2連)				400×350×1027	297
	A形(6連)	深目地			400×350×2485	918
	B L形(3連)				400×350×1443	547
	B R形(2連)				400×350×1027	394
5分タイプ	A形(6連)	浅目地	35	350	400×350×2485	690
	B L形(3連)				400×350×1443	412
	B R形(2連)				400×350×1027	297
	A形(6連)	深目地			400×350×2485	918
	B L形(3連)				400×350×1443	547
	B R形(2連)				400×350×1027	394
50型	A形(6連)	浅目地	35	500	400×500×2485	972
	B L形(3連)				400×500×1443	580
	B R形(2連)				400×500×1027	418
	A形(6連)	深目地			400×500×2485	1194
	B L形(3連)				400×500×1443	713
	B R形(2連)				400×500×1027	514
1割タイプ	A形(6連)	浅目地	35	350	400×350×2485	690
	B L形(3連)				400×350×1443	412
	B R形(2連)				400×350×1027	297
	A形(6連)	深目地			400×350×2485	918
	B L形(3連)				400×350×1443	547
	B R形(2連)				400×350×1027	394

- ・ブロック横方向40cm間隔に、15～30mmの隙間があり、植物や昆虫等の生育の場が確保されます。
- ・ブロックは深目地によって多様な水際となり、魚巢効果が期待されます。
- ・周辺との景観に配慮するため、ブロック前面を擬石模様としました。
- ・控35cmのコンクリート塊であるので、転石等による破損が無く、急流部での使用が可能です。
- ・壁体重量が十分あり、上下ブロックの突起によるかみ合わせや横6個の連結構造としたことにより土圧に対し十分安定します。
- ・一連当たり1.0m²の大型製品であり、水平積みで安定し空積工法を基本としていることから施工性が良く、大幅な省力化と省人化が図れる経済的なブロックです。
- ・各種勾配製品を用意しており、様々な現場で容易に施工が可能です。
- ・横連結構造により、カーブ施工がスムーズに出来ます。



ふる里 (基礎ブロック)



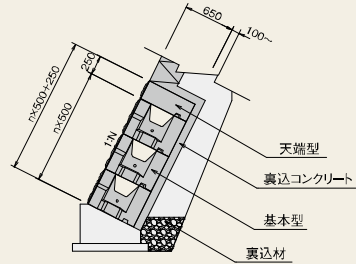
◆規格諸元

名称	規格(mm)	参考質量(kg/個)	胴込量(m ³ /個)
35型 浅目地用 基本	275×550×2500	501	0.0775
35型 浅目地用 端部	275×550×1250	248	0.0398
35型 深目地用 基本	275×650×2500	613	0.0787
35型 深目地用 端部	275×650×1250	303	0.0410
50型 浅目地用 基本	275×750×2500	693	0.0943
50型 浅目地用 端部	275×750×1250	342	0.0490
50型 深目地用 基本	275×850×2500	805	0.0953
50型 深目地用 端部	275×850×1250	397	0.0500

ナチュラルロックグローフィッシャー



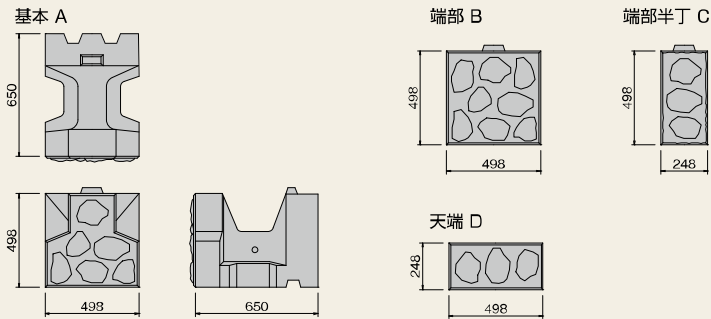
◆標準断面図



◆規格諸元

名称	規格(mm)	参考質量(kg/個)
基本 A	498×498×650	224
端部 B	498×498×650	332
端部半丁 C	248×498×650	166
天端 D	498×248×650	166

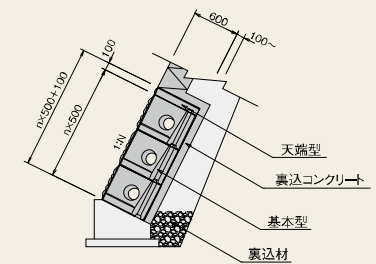
◆製品図



(ナチュラルロック) エコフィッシャー



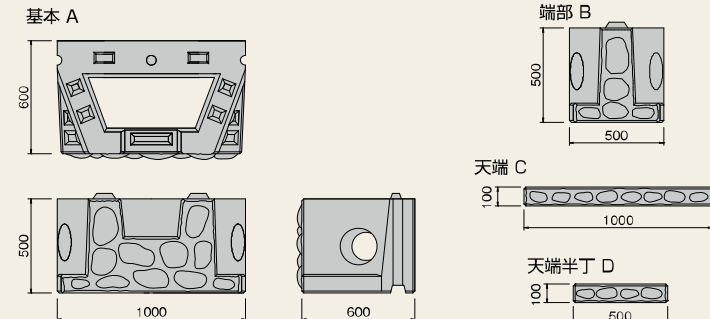
◆標準断面図



◆規格諸元

名称	規格(mm)	参考質量(kg/個)
基本 A	1000×500×600	403
端部 B	500×500×600	230
天端 C	1000×100×600	144
天端半丁 D	500×100×600	72

◆製品図



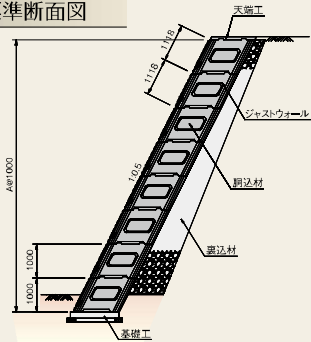
ジャストウォール

テク 明度 NETIS 兵新技
証明 証明

◆特長

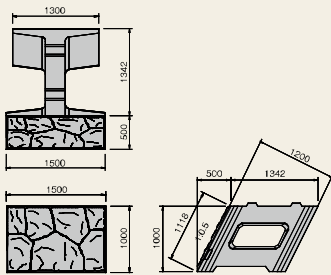
- 安定計算によって10cm間隔で壁厚(750~2500mm)の設計ができる経済的な大型ブロックです。(1.677㎡/個)
- より最適な厚みで設計でき、切土量、胴込コンクリート量を最も減らせ環境影響度も低くなります。
- 製品前面が1:0.5勾配に傾いており、水平に施工でき、自立性が高いため施工が容易です。
- 中央柱が一本のため開口部が広く、胴込材(コンクリート・碎石・土砂)の投入が容易です。
- 製品本体と胴込材が確実に一体となり、擁壁の安定性が増す構造体となります。
- 用地境界等によって無駄な厚みのない断面としたい場合などにもお勧めです。
- 自立性が高いため、ブロックを並べて微調整するだけでので、熟練工を必要としません。
- 製品表面の模様は、自然景観になじむ擬石模様です。
- 長大法面に対応できるようにブロック控え長を2500mmまで用意できます。

◆標準断面図



◆製品図

1200型



◆規格諸元

名称	規格(mm)	参考質量(kg/個)	胴込量(㎡/個)
750	1500×1118×750	1025	0.812
900	1500×1118×900	1090	1.035
1000	1500×1118×1000	1133	1.184
1100	1500×1118×1100	1177	1.333
1200	1500×1118×1200	1223	1.480
1300	1500×1118×1300	1267	1.629
1400	1500×1118×1400	1311	1.778
1500	1500×1118×1500	1354	1.927
1600	1500×1118×1600	1455	2.050
1700	1500×1118×1700	1499	2.199
1800	1500×1118×1800	1543	2.348
1900	1500×1118×1900	1587	2.496
2000	1500×1118×2000	1630	2.645
2100	1500×1118×2100	1674	2.794
2200	1500×1118×2200	1718	2.942
2300	1500×1118×2300	1761	3.091
2400	1500×1118×2400	1805	3.240
2500	1500×1118×2500	1851	3.388



◆施工手順



基礎工設置



ブロック敷設



胴込コン・裏込材投入



天端工設置



2段目以降の敷設-2



2段目以降の敷設-1

1 基礎工設置

基礎工は、凹凸がないように入念にコテで仕上げます。

2 ブロック敷設

スリングベルト2本を首の開口部にかけて吊り上げ、所定の位置に敷設します。

3 胴込コン・裏込材投入

一段目のブロックを敷設した後、バイブレーターで入念に締め固めながら胴込コンを投入します。その後、裏込材を投入し締め固めます。

4 2段目以降の敷設

ブロックの天端を掃除し、2段目以降をブロック敷設、胴込コン、裏込材の投入を行います。(必要に応じて水抜きパイプの設置を行います。)

5 天端工設置

ブロックを所定の段数まで敷設した後、天端工を設置します。(必要に応じて)





スーパージャンボ

テク
証明

明度
証明

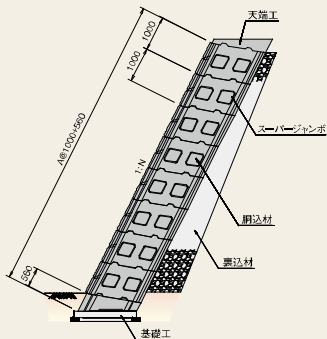


◆特長

- ・大型部材(1個当たりの製品面積2㎡)による段積み方式の製品のため、作業効率が良く、工期を大幅に短縮できます。
- ・独特の製品背面形状により、胴込材(コンクリート・砕石・土砂)の投入が容易であり、更に製品本体と胴込材が確実に一体となり、擁壁の安定性を増す構造体となります。
- ・壁面は擬石模様を標準とし、さまざまな自然石の埋込みも可能であり、周辺環境に合わせた擁壁の構築をすることができます。
- ・背面の地下水や浸透水はブロックの胴込材(砕石)に集水され、目地から排水されます。また、基本型には全て水抜を設けてあり(1個/2㎡)製品本体に過大な水圧が動かないよう配慮しています。

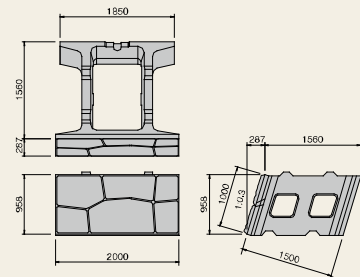


◆標準断面図



◆製品図

1500A



◆規格諸元

名称	規格(mm)	参考質量(kg/個)	間詰量(㎡/個)
700A	2000×1000×700	1456	0.816
700B	1000×1000×700	677	0.408
700C	2000×500×700	719	0.408
700D	1000×500×700	339	0.204
700E	2000×559×700	718	0.373
900A	2000×1000×900	1540	1.182
900B	1000×1000×900	721	0.591
900C	2000×500×900	787	0.591
900D	1000×500×900	369	0.296
1500A	2000×1000×1500	1844	2.182
1500B	1000×1000×1500	881	1.091
1500C	2000×500×1500	897	1.091
1500D	1000×500×1500	428	0.546
1500E	2000×559×1500	1183	0.737



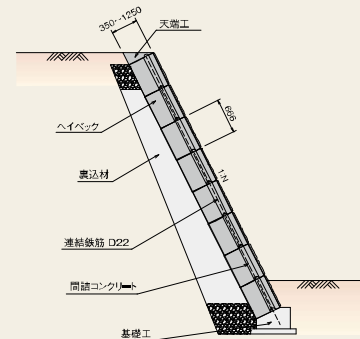
ヘイベック

◆特長

- ・1㎡/個の大型ブロックであり施工が早く工期の短縮が図れます。
- ・重機施工により、作業が省力化され、熟練工を多数必要としません。
- ・現場でのコンクリートをほとんど必要とせず、冬の養生問題を考えなくてよい製品です。
- ・製品表面は擬石模様となっており、周囲の景観と調和します。また、様々な自然石を埋め込んだタイプ(ナチュラルロック)の製造も可能です。
- ・上下の製品はかみ合わせ式になっており、また連結鉄筋(D22)を使用するため、壁面の一体化が得られ安全な構造となります。
- ・ブロック側面の空隙は、排水を容易にするとともに、間詰をすることで水密構造となります。

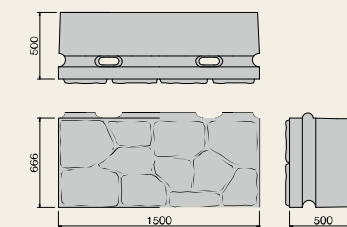


◆標準断面図



◆製品図

A-50



◆規格諸元

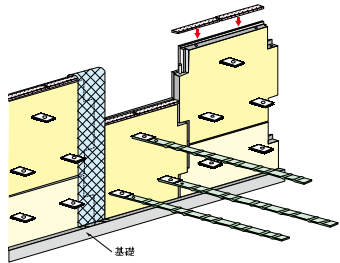
名称	規格(mm)	参考質量(kg/個)	間詰量(㎡/㎡)
A-35	1500×666×350	742	0.0168 (0.0220)
B-35	750×666×350	394	
A-50	1500×666×500	1080	0.0168 (0.0220)
B-50	750×666×500	563	
A-75	1500×666×750	1436	0.1130 (0.1214)
B-75	750×666×750	690	
A-100	1500×666×1000	2000	0.1130 (0.1214)
B-100	750×666×1000	963	
A-125	1500×666×1250	2617	0.1130 (0.1214)
B-125	750×666×1250	1233	

※間詰量は道路用の場合(カッコ内数値は河川用の場合)



テールアルメ工法A3

NETIS

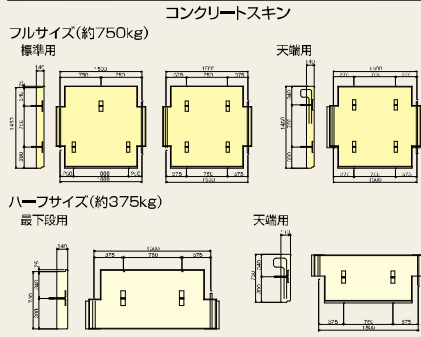


抜群の実績と安心感を有する十字形壁面材に、ストリップを最適配置した新スタンダード。

◆特長

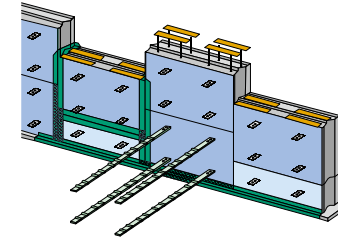
- 標準タイプのテールアルメの長所はそのままに、省資材化・経済性が更に向上しました。
- 数多くの実績・経験を重ね、高い安定性・追従性が確立された十字形スキンを使用します。
- 作用力の少ない壁上部のストリップ配置をより合理化し、部材使用量が適正化されました。
- A3は壁面の安定性・追従性に配慮したトライアングル配置で、摩擦抵抗力を1.3倍に引上げた幅広ストリップを使用します。
- 高強度ストリップ(幅60mm)と幅広ストリップ(幅80mm)を巧みに使い分け、全体の補強材長の短縮を実現しました。

◆製品図



アクアテール35

NETIS

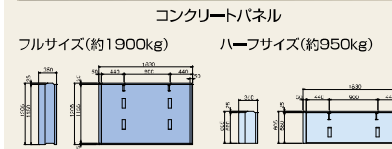


日々進化を続けるテールアルメ。抜群の安定感を誇る高耐久壁面材で河川構造物のフィールドへ。2010年10月、水辺専用の補強土工法として初めてNETISに登録されました。

◆特長

- 35cmの壁厚で流水に対する高い安定性を実現します。
- 直径1.0m×長さ10mの流木が流速10m/秒(推定)で衝突しても、所定の安定性が確保されることが確認されています。
- ストリップは約70年の耐久性が保証されています。
- 現場でプレキャスト製品を組み立てるだけのプレハブ工法で施工性が大幅に向上します。
- 盛土層厚の改善により、総転圧回数を低減できます。(25cm→30cmへ)
- 壁厚は35cmと安定性が抜群なため、壁面材設置時の傾斜などの微調整は不要です。
- 水位線を境界にその他のテールアルメ製品との併用が可能です。

◆製品図



■テールアルメ工法A3



■スーパーテールアルメ工法



■アクアテール35

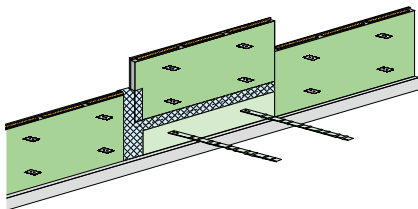


■アクアテール35+テールアルメ



スーパーテールアルメ工法

NETIS



壁面材の大型化とストリップの最適配置により、工期短縮・コスト削減を実現したシンプルで美しいテールアルメ

◆特長

- 壁面パネルの大型化により、壁面設置時間の大幅短縮を実現しました。
- ストリップは、摩擦力が従来比1.33倍と大幅にUPした幅広タイプとなっており、補強材の最適配置化により、断面形状は従来と変えることなく、取付け総延長の大幅な削減が可能となり、工期短縮とコスト削減を実現しました。
- 盛土層厚の改善により、総転圧回数を低減できます。(25cm→30cmへ)
- デザインパネルの景観性が向上。景観に配慮した、新しいデザイン空間を創出できます。

◆製品図

